

本邦集中治療室における早期リハビリテーション実施に関する横断的研究

1. 研究の対象

2017年9月～2017年10月の中の無作為に抽出した平日3日間の午前8:00に、当院集中治療室に在室している成人患者

2. 研究目的・方法

集中治療室での早期リハビリテーションとしての安全性や効果に関しては国外においては明らかにされていますが、国内の集中治療室で早期リハビリテーションがどの程度行われているかは明らかになっておりません。今回、国内の集中治療室に入室し治療を受けた患者に対してどの程度早期リハビリテーションが実施されていたのか、早期リハビリテーションを実施できる要因や阻害される要因を明らかにするため、この研究が企画されました。

研究期間は、2017年2月～2018年3月です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

研究では、通常診療で行われた早期リハビリテーションの内容を診療録（カルテ）情報等を調査して行います。カルテ等から使用する内容は、身長、体重、性別、人工呼吸器の使用状況やリハビリテーション実施状況などです。

（個人を特定可能な情報は解析に用いません）

4. 外部への試料・情報の提供

主体となる研究期間である広島大学へのデータの提供は、郵送にて行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

広島大学大学院医歯薬保健学研究院救急集中治療医学 教授 志馬伸朗
研究協力施設 30 施設程度

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：

〒861-4193 熊本県熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096(351)8000

済生会熊本病院リハビリテーション部 岡田大輔

研究代表者：

広島大学大学院医歯薬保健学研究院救急集中治療医学 教授 志馬伸朗

以上